

Introduction to Micro Debate

■ ディベートとは

ディベートとは、ある論題(proposition)について肯定側(the affirmative)と否定側(the negative)の2チームに分かれ、一定のルールのもとで行う論戦である。肯定と否定のどちらの立場に立つかは個人的な考えや信念とは無関係に、じゃんけんやくじ引きなどで決められる。ディベートではどちらのチームが審判(judge)を説得させられるかで勝ち負けを決める。ディベートは、口げんかや言い争いとはまったく異なる知的なゲームである。

■ ディベートの進め方

(1) 論題を決める

ディベートは与えられた論題について行われる。論題は多くの場合、「～すべきである」という形式をとる。つまりディベートは「～すべきかどうか」について議論される。

(2) ディベートを行う

討論者はお互いに向かい合うのではなく、審判の方に向けて座る。相手を論破するのではなく、審判に説得力のある議論だと納得させることがディベートの目的である。

- (a) 立論: 議題について自分たちのチームの「主張」を明確に示し、その「根拠」を述べる。
- (b) 反論: 相手の主張に対して反論し、自らの主張を守る。
- (c) まとめ: 自分たちの主張を要約し、審判に対して自分たちの優位性を訴える。

■ ディベートを行う上での注意点

ディベートは、事前の準備をしっかりと行い、ディベートのルールに従って議論を行うが、それ以外に次のような点にも注意すべきである。

(1) 人称に注意する

立論・反論・まとめでは審判に向かって you で語りかける。相手チームに対しては they など3人称で呼びかける。全員に対する呼びかけは everyone などを使う。

(2) フェアな議論を行う

ディベートでは自分の議論に対して相手に反論の機会を与えることが大切である。立論で述べなかった議論を「まとめ」で新たに述べることは、相手に反論の機会を与えずに一方的に攻撃することになるのでフェア(公正)ではない。

(3) 「制度を変えるのは不可能である」というような主張をしてはならない

ディベートは、現在の制度や仕組みを変えることができるという前提で行う。「私は総理大臣ではないからそんなことは決められない。そんな議論をしても無駄だ。」とか「日本の法制上、成人年齢の変更は現実問題として難しい。」といった主張をしてはならない。

論題(例): The legal age of adulthood in Japan should be 18.

肯定側

the affirmative

否定側

the negative

立論

① 肯定側立論 Affirmative Constructive Speech

論題がどうして肯定されるべきなのかを論じる。

Hello everyone. My team believes that the legal age of adulthood in Japan should be 18. **We have two reasons. Let me explain. ...**

② 否定側立論 Negative Constructive Speech

論題がどうして否定されるべきなのかを論じる。

We support keeping the present situation because the proposed plan would bring about the following two serious problems. ...

③ 作戦タイム Preparation Time

反論の前に質疑の時間をとることもある。

④ 否定側反論 Negative Attack

肯定側に反論し、自分たちの主張を弁護する。

The team taking the affirmative position said young people would be more interested in politics. **However, this is doubtful. ...**

⑤ 肯定側反論 Affirmative Attack

否定側に反論し、自分たちの主張を弁護する。

Those taking the negative position said that young adults in Japan are generally immature and dependent on their parents, but ...

⑥ 作戦タイム Preparation Time

⑦ 肯定側まとめ Affirmative Summary

立論, 反論の議論を踏まえ, 肯定側の主張の正しさを伝える。

I will now start the summary supporting the affirmative position. **The point we are making is that ...**

⑧ 否定側まとめ Negative Summary

立論, 反論の議論を踏まえ, 否定側の主張の正しさを伝える。

Let me summarize the points we made ...

審判の判定 Judgment

クラスメートが審判としてどちらが勝ちかを判定する。

反論

まとめ

■ ディベートに役立つ表現

○ 立論の表現

We strongly believe that ~ because ...

We believe that ~ for the following reasons.

We have two reasons. Let me explain.

There are three reasons. First, ... Second, ... Third, ...

For these reasons, it is obvious that ~

Therefore, we believe that ~

○ 反論の表現

They said that ~, but this is not true.

However, this is doubtful.

It has nothing to do with the topic.

This is not relevant.

This is not important because ~

This doesn't matter because ~

This is not necessarily true.

They are wrong, because ~

○ まとめの表現

The point we are making is that ~

In summary, ...

That's why it is clear that ~

In conclusion, ...

In short, we can say that ~

To sum up, ...

We can therefore conclude that ~

Let me summarize ~

■ ディベートで使われる用語

the affirmative 肯定側

the negative 否定側

advantage (論題の)良い点

disadvantage (論題の)良くない点

argument (根拠に基づいた)議論

opinion 意見

support (意見を支える)根拠

reasoning 論証

evidence 証拠

★ マイクロディベート

ディベートの練習として、個人で行うマイクロディベートを実施する。
 マイクロディベートでは基本3人組で実施する。(人数調整のため4人1組もある)
 マイクロディベートで練習を重ねた後に、団体で行うディベートへとつなげていく。

○ 方法

個人戦で、基本3人グループ。ただし4人グループもある * ディベートは団体戦

○ 流れ

- | | | |
|---|---|----------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ① Affirmative の speech time ② Negative の speech time ③ Thinking Time ④ Negative の rebuttal speech ⑤ Affirmative の rebuttal speech ⑥ Judge の計算・勝利確定 | } | <p>1セットとして合計3セット
6分×3セット</p> |
|---|---|----------------------------------|

○ 役割

3人グループ	1セット目	2セット目	3セット目
生徒 A	Affirmative	Judge	Negative
生徒 B	Negative	Affirmative	Judge
生徒 C	Judge	Negative	Affirmative

4人グループ	1セット目	2セット目	3セット目
生徒 A	Affirmative	Judge	Negative
生徒 B	Negative	Judge	Affirmative
生徒 C	Judge	Affirmative	Negative
生徒 D	Judge	Negative	Affirmative

↑ Judge なし